# 洪水・土砂災害ハザードマップの見方

## 洪水・土砂災害ハザードマップについて

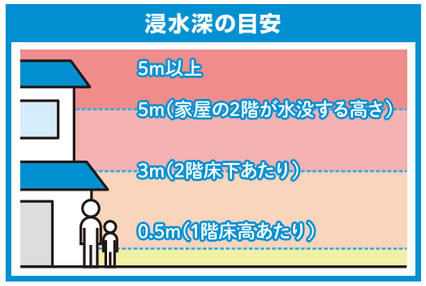
現時点の河川の整備状況をもとに、玄海町で起こりうる大雨を想定し、氾濫が発生した場合の浸水範囲と浸水深を表示しています。また、土砂災害による被害が予想される区域として、佐賀県が指定している土砂災害（特別）警戒区域を表示しています。

実際の災害発生時には、このハザードマップに表示されている内容より、さらに広い範囲への被害がおよぶ恐れがあります。

※お住まいの地区によって、災害発生時の避難所がそれぞれ異なります。地区別避難所一覧で確認しておきましょう。

### 浸水シミュレーションの条件

●有浦川：30年に1回程度の大雨
（24時間雨量 298mm、
時間最大雨量 58.2mm）
※平成2年7月洪水に相当



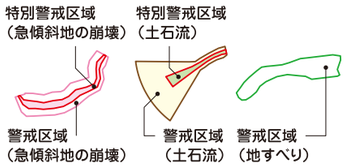

### 凡　例

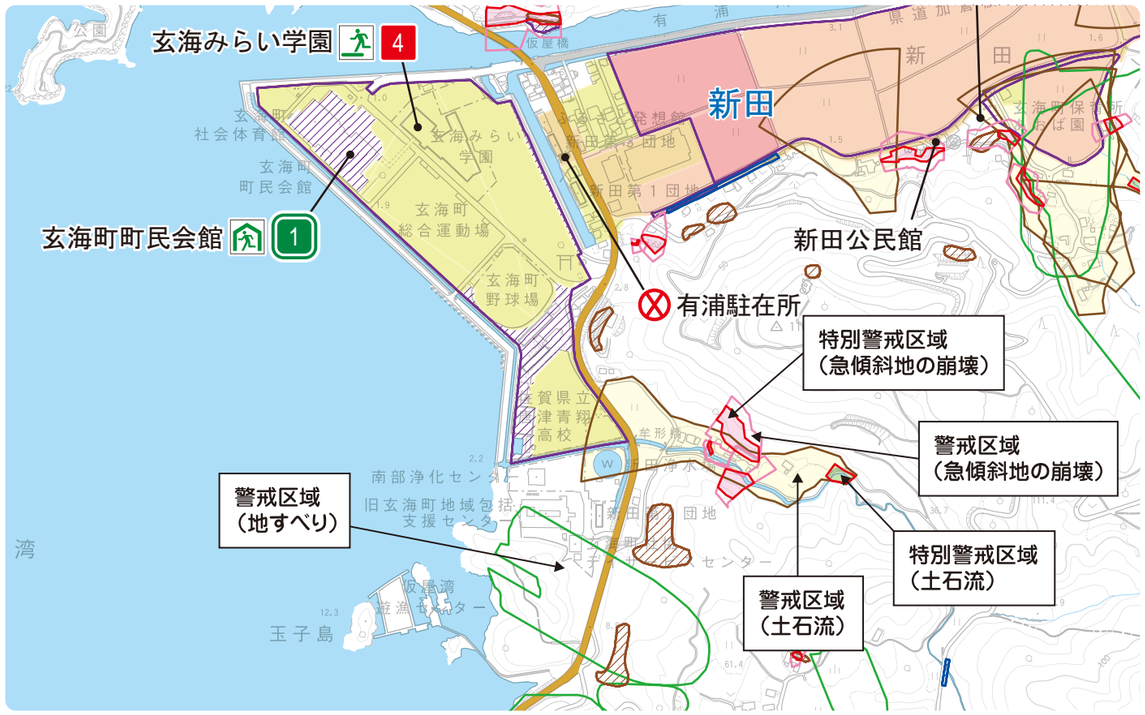
**洪水浸水想定区域**
- 浸水深0.5m未満
- 浸水深0.5m以上1.0m未満
- 浸水深1.0m以上2.0m未満
- 浸水深2.0m以上5.0m未満

**主な災害実績箇所**
- 浸水被害
- 水路溢水被害
- 道路冠水被害
- 土砂災害被害

※過去の記録や、地域からの情報による主な実績箇所を掲載しています。

**土砂災害の危険がある場所**








# 津波・高潮ハザードマップの見方

## 津波ハザードマップについて

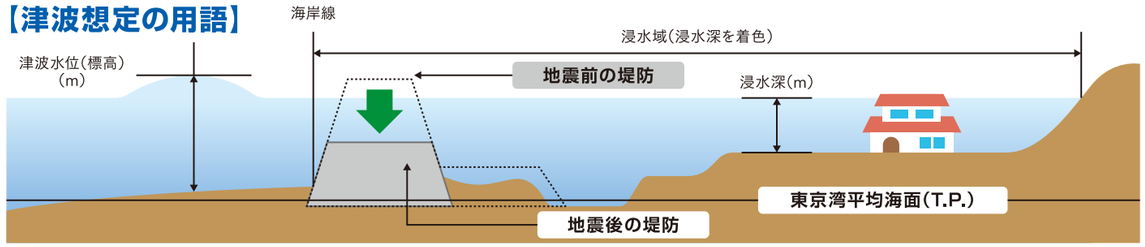
津波ハザードマップは佐賀県が平成27年度に公表した津波シミュレーション結果と、玄海町が作成した「津波避難対象地域」を表示したものです。
「津波浸水想定」は最大クラスの津波※が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）を表したものです。

※最大クラスの津波（L2津波）発生頻度は極めて低いものの、発生すれば甚大な被害をもたらす津波。

津波は繰り返し襲ってきて、後から来る津波の方が大きくなることがあるため、浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場所もあります。

地盤の低いところでは地震によって堤防が沈下・損壊することで、津波が到着する前に浸水が始まることがありますので、津波到着時間に係わらず早めの避難行動を心掛けてください。

### 【津波想定の用語】




※浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上（そじょう：さかのぼること）することが想定される区域
※浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置にきたときの地面から水面までの高さ

### 【日本海における大規模地震を想定】

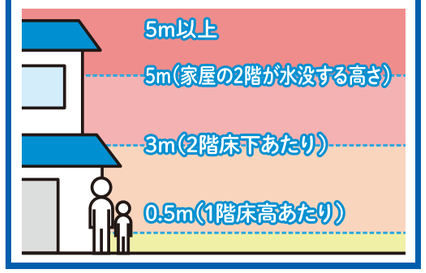
| 最大浸水面積 | 最大浸水深 | 津波影響開始時間（±20cm） | | |
|---|---|---|---|---|
| 70ha | 3.3m | 最大津波 | 水位（TPm） | 2.6m（波高1.38m） |
| | | | 到達時間 | 88分 |

※影響開始時間：代表地点において地震直後の海面から±20ｃｍの変動が生じるまでの時間

### 凡　例

**津波浸水想定区域**
- 浸水深0.01m～0.3未満
- 浸水深0.3m以上1.0m未満
- 浸水深1.0m以上2.0m未満
- 浸水深2.0m以上5.0m未満

- 津波避難対象地域
- 高潮危険区域




## 高潮ハザードマップについて

高潮ハザードマップは、台風などによって高潮災害が発生した場合を想定し、最も被害のおよぶ状況についてシミュレーションした結果を表示したものです。

### ■高潮シミュレーションの条件

❶台風の経路：近年で玄海町周辺に最も接近した2004年9月台風をもとに、最も被害のおよぶ経路を想定
❷台風の中心気圧：日本に上陸した台風の中で観測史上最も低い室戸台風の中心気圧（910hPa）
❸潮位の条件：仮屋験潮所における朔望平均満潮位T.P.+1.60m

シミュレーションの結果、仮屋験潮所の朔望平均満潮位から1.20mを足し合わせたT.P.+2.80mの範囲を「高潮危険区域」としてマップに示しています。

実際の高潮発生時にはこの高潮ハザードマップとは異なる範囲で被害がおよぶ可能性があります。